
「がんセンター一般病棟におけるセーフプロデューサー報告を用いた転倒・転落要因の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で転倒転落を起こした患者さんの報告書を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、「埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB」の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年4月1日から2024年5月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターのD棟6階病棟に入院され、転倒転落を起こした患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

医療現場において転倒転落により外傷などが生じた際には日常生活動作の低下などに繋がることはいわれており、転倒転落防止は患者さんにとって重要です。当院D棟6階病棟では転倒リスクの高い患者さんが多く入院しているため、転倒転落防止は課題の一つになっています。そこで、転倒転落が発生した際の報告書より発生要因などを情報収集し考察することで、今後の転倒予防に一助になると考えています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

転倒転落が発生した際の環境に関する要因(時間や場所)、患者さんに関する要因(年齢や性別、使用薬剤など)、看護師に関する要因などを、セーフプロデューサー報告より情報収集します。

セーフプロデューサー報告とは、転倒転落が発生した際に医療者が記載する報告書のことです。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である志柿真輝が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院D棟 6階病棟で入院中に転倒転落を起こした際の看護師が記載する報告書にある情報等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟看護師 志柿 真輝（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟看護師 北浦 みなみ
- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟看護師 大野 亮介
- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟看護師 太田 潤
- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟主任 村上 秀彰
- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟看護師長 村田 寿美子
- ・ 埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟呼吸器外科（准教授） 坂口 浩三

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長

5. 試料・情報の提供方法等について

該当なし

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター D棟 6階病棟 志柿 真輝

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：がんセンター一般病棟におけるセーフプロデューサー報告を用いた転倒・転落要因の実態調査

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センターD棟 6階病棟看護師 志柿 真輝